

CA2019 春合宿 TA 報告書

秋野光哉

CA の合宿は、留学生が中心となってしおり、作りから観光地の案内まで担当しており、日本の文化に触れながら様々なことが学べるとてもよい機会であると感じた。

研究発表会では、日本人が研究しても難しそうな課題に留学生が挑戦しており、それゆえ研究の進め方につまずいている留学生が多いと感じた。しかし、先生方や TA だけでなく、留学生の間でも積極的にアドバイスし合っており、有意義な発表会になったと思う。

その後の交流会でもいくつかのゲームを通して留学生と接し、留学生の日本語能力の高さに驚いた。自分自身、留学を経験した身として、日本語を貪欲に勉強しようとする CA の留学生たちをととても尊敬する。それと同時に、もっと一緒に多くのことを勉強したいと感じ、卒業して来学期から関わるができないことに寂しさを感じた。

CA の活動に参加したのは 2 度目で、留学生チューターなどで何名かの留学生とは関わっているが、合宿に参加したのは初めてだった。寝食を共にすることで、普段よりも密なコミュニケーションを取ることができた。留学生それぞれの母国の話を聞くこともでき、個人的にも大満足な合宿であった。次回合宿では一緒に富士登山しましょう！

